

生きてる白山に学ぶ水と緑と防災 白山砂防通信



知って備えて
みんなで防ごう土砂災害！

2025. 秋冬号
VOL.61

白山砂防は令和9年で **直轄100周年** を迎えます！

直轄100周年に向けた取組 第1弾 白山砂防〇〇発信プロジェクト

直轄100周年を記念して、白山砂防をより広く知っていただけるように、色々な取り組みを行っていきます。
第1弾として、白山砂防の歴史と事業についてまとめた動画を作成しました！
金沢河川国道事務所 Youtubeチャンネルで公開していきますので、ぜひご覧ください！

白山砂防は100年にわたり流域の安全を守ってきました。
この100周年を機に、「歩み」「魅力」「役割」など多岐にわたる意味合いを発信する
“〇〇”発信プロジェクトとして、次世代へ価値を継承するプロジェクトを始動しました。

私のご案内します



動画その1

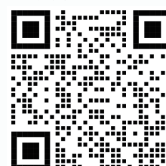
白山砂防〇〇発信プロジェクト【砂防編】



国が石川県から白山での砂防事業を継承するに至った経緯や、牛首川、尾添川での砂防事業についてご紹介しています。
大正から昭和にかけての砂防事業の歴史は実に興味深いです！



金沢河川 Youtube



動画その2

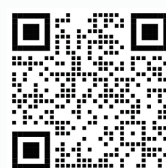
白山砂防〇〇発信プロジェクト【地すべり対策編】



白山砂防の歴史の中でも特に重要な「甚之助谷地すべり対策工事」についてご紹介しています。
甚之助谷に流入する地下水を取り除くため、14年かけて行われた万才谷排水トンネルの整備は必見です！



金沢河川 Youtube



甚之助谷第2号谷止工の案内看板を新しくしました！

甚之助谷第2号谷止工は白山砂防の最初期に石川県の直轄事業として施工された谷止工のひとつです。当時の技術を現代に伝える重要な施設として、平成24年に国登録有形文化財に登録されました。



登山道で
探してみてね！





1 砂防施設の臨時点検を安全に効率よく実施できるよう、**UAV**を用いた実証試験を実施しました。

可搬式基地局（SRS）の試験



可搬式基地局（SRS）を用いて、携帯電話の電波が届かない不感地帯での UAV 飛行試験を実施しました。

実施日：令和 7 年 9 月 12 日
飛行場所：白山砂防出張所
～市ノ瀬ビジターセンター
UAV：Matrice300RTK

UAV って？

UAVとは「Unmanned Aerial Vehicle」の略であり、無人航空機全般のことを指します。

ドローン

複数のプロペラを持ったマルチコプター



長距離飛行（VTOL機）の試験



VTOL機を用いて自律飛行の長距離飛行試験を実施しました。

実施日：令和 7 年 10 月 30 日、31 日
飛行場所：市ノ瀬ビジターセンター～甚之助谷源頭部
UAV：VTOL機（エアロボウイング）

2 白山火山が噴火したことを想定し、**UAV**を用いた降灰調査の実証実験を実施しました。

ハイブリッドドローンでの降灰厚把握の試験



自律飛行により、UAV搭載カメラでの標尺物の確認の試験を実施しました。

実施日：令和 7 年 10 月 1 日
飛行場所：市ノ瀬付近～南竜ヶ馬場付近
UAV：AeroRange G4-S

電源出力がバッテリー＆エンジンのハイブリッド！

自律飛行って？

自律飛行とは、事前に飛行ルート等を設定し、操縦者による操縦を行うことなく、UAV が自律的に飛行を行うことです。

白山砂防特派員の活動

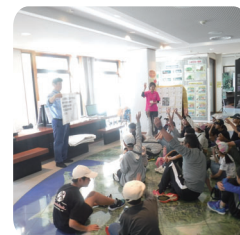
白山砂防科学館での広報活動

白山砂防科学館の見学に訪れた小学生の皆さんに、土石流模型実験、白山砂防〇×クイズを行いました！

土砂災害の怖さや砂防堰堤の果たす役割、白山砂防事業の重要性などを児童たちに伝えることができました。



令和 7 年 9 月 12 日
小松市立国府小学校 5 年生
（総勢 53 名）



令和 7 年 10 月 17 日
小松市立苗代小学校 5 年生
（総勢 97 名）

手取川源流域調査

第 21 期（令和 5 年度）以来 2 年ぶりの開催になりました！

実際に自分の目で地すべり対策施設を見ることにより、白山砂防や甚之助谷地すべり事業への理解を深めることができた 2 日間となりました！

実施日：令和 7 年 8 月 26 日、27 日

目的：①「手取川の始まりとなる源流域を調査すること」

②「甚之助谷地すべり対策事業として地すべりブロックへの地下水浸透を防ぐことを目的に整備された『万才谷排水トンネル』について学ぶこと」



万才谷排水トンネル





白山砂防科学館へ行ってみよう！ 白山砂防についての見学コーナー



白山砂防科学館は白山や砂防・防災・白山手取川ユネスコ世界ジオパークについて楽しく学べる施設です。

日本語の「砂防」は外国語でも「SABO」といいます。それだけ日本列島は険しい山が多く砂防技術が進んでいると、世界に認められている証拠です。

中でも白山は『動く山』と言われ崩れやすく、白山を源とする手取川は古くから幾度も洪水、氾濫を繰り返す『暴れ川』として流域の人々に甚大な被害をもたらしてきました。

そのため大正時代より土砂流出の防止と抑制を目的とし、さまざまな砂防堰堤が作られてきました。

白山の災害史



霊峰白山を源とする手取川・庄川・九頭竜川・長良川の洪水、氾濫の災害史をジオラマと音声で紹介しています。また、ジオラマを色々な角度から見ると、上空や他県から見える白山の風景が楽しめますよ！

白山砂防の歴史



白山砂防の歴史は100年以上にもなります。白山砂防の歴史や当時の工事の様子、工事に使われた道具などが展示されています。実際に石を運んでいたもっこで（重さは約30キロ）昔の砂防工事を体感してみましょう！

百万貫の岩の1/2模型 シアター・クイズ

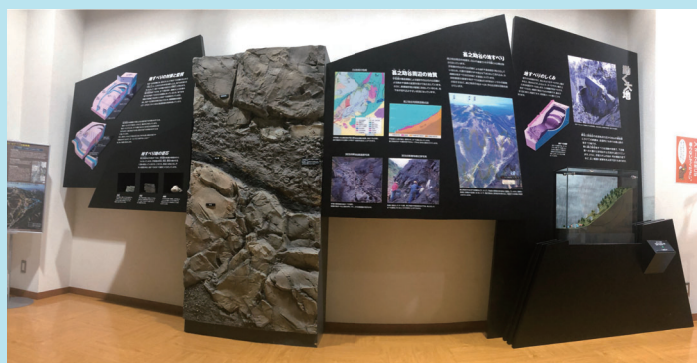


昭和9年手取川大洪水の際に流れてきた『百万貫の岩』の1/2サイズの模型。

模型の中はシアターになっていて『百万貫の岩は語る』や『挑め！白山を守るために』、『昭和9年の手取川大洪水』などのシアターが楽しめます。

また、壁面にあるクイズで砂防や防災について、楽しく学ぶことができます。全問正解すると認定書が発行されます。認定書が発行された方で、ご希望の方に砂防カードをプレゼント！ぜひ挑戦してみてくださいね！

動く大地



白山は『動く山』と言われ、一部の尾根などは、計測の結果、1年に最大で10cm～15cm動いていることが分かっています。

甚之助谷周辺の地質は白山の基盤である手取層群地層と火山噴出物からなっています。

手取層群が白山の火山活動による熱水や温泉によって変質して粘土化していることや、大量の雪解け水や雨が地下水となって流れ込むことが、大規模な地すべりを引き起こす原因となっています。甚之助谷では大量の地下水を取り除くための設備工事を行っています。

このコーナーでは白山の地質、地すべりの仕組みや対策について解説されています。

11月2日(日) 白山手取川ジオツアー開催!

参加者 11名



《見学コース》

白山砂防科学館(昭和9年手取川大洪水の3Dシアター鑑賞)→百万貫の岩→宮谷川(百万貫の岩が流出したといわれる場所)



11月2日(日) 白山市白峰で開催された温泉まつりで、白山砂防科学館のブースが開設され、土砂災害を食い止める砂防堰堤の役割を紹介するパネルの展示や、ラジコンパワーショベルの無人化施工体験コーナー、また会場にいながら甚之助の工事用道路や堰堤を見ることができるVRコーナーも初登場しました。

防災やジオパークについての砂防クイズが出題され、百万貫の岩の大きさに関する問題や、土砂災害の危険性のある箇所に関する問題等が出題され、多くの方が真剣に考えて挑戦していました。

白山砂防科学館ブース



VRではこんな景色が見えてたんだよ!

← VR体験コーナー

○クイズに挑戦する参加者



土砂災害の危険性のある箇所が4000箇所以上あると聞いて驚く参加者たち

← 無人化施工体験コーナー 大人も子どもも楽しめる 目指せ! オペレーター



むずかしいぞ

どっちだ?



白山砂防科学館・見学のご案内

白山砂防科学館は自由に見学する事が出来ます。ご希望に応じ解説も致しますのでご相談下さい。団体見学の場合は前もってご予約下さい。詳しくは白山砂防科学館までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

白山砂防科学館 入館無料(休館日:毎週木曜日)
TEL 076-259-2990 FAX 076-259-2991

◆編集・発行◆

国土交通省金沢河川国道事務所
流域対策課

〒920-8648 金沢市西念4丁目23番5号
TEL 076-264-9913
FAX 076-233-9612
Eメール kanazawa-ryutai@hrr.mlit.go.jp